

事例概要シート

活動種別	○個別相談支援(すこやか地域ケア会議で取り上げた事例に関わらず、他機関で協働した事例や課題が複雑化・複合化した事例、解決に至らず課題を共有したい事例)
事例タイトル	プレ高齢者～65歳未満の方への取組～
事例内容	<ul style="list-style-type: none"> ・63歳 単身女性 ・アパート管理会社から民生児童委員に相談があった。 ・体調悪く食事が摂れず、アパート室内で動けなくなっている人がいる。 ・就労できずに、家賃滞納。生活費にも困っているらしい。 ・医療費が払えないため、病名もよくわからない。 ・親族(弟)とは連絡が取れない。
目指す支援・対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援(生活保護、親族からの支援) ・医療的支援(生活保護) ・介護的支援(介護保険年齢前。みなし2号適用の検討)
P(計画) 目標を設定し、それを達成するための具体的な行動計画を作成する	<p>※アウトリーチ連携会議(区活職員、保健師、福祉職、社会福祉協議会、地域包括支援センター)によりケース検討を行い、計画を決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生活保護申請について(生活費、家賃、医療費等の支払い) ②介護保険申請について(みなし2号適用は難しい) ③親族(弟)への連絡、支援要請について ④地域の見守り体制について(緊急連絡カード、見守り名簿登載、災害事故別避難計画の作成) ⑤配食サービスについて
D(実行) 作成された計画に沿って業務を実行する	<p>※アウトリーチチーム、社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生児童委員、アパート管理人、家主等が連携して計画を実行した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生活保護の受給を開始した。 ②みなし2号適用により訪問看護サービスを開始した。今後、訪問介護・家事援助サービス等を検討する。 ③親族とは連絡とれない状況。 ④アウトリーチチーム、地域包括支援センター、民生児童委員による見守りを開始した。 ⑤食料の在庫はあるので、当面は大丈夫か。
C(検証) 実行した結果と当初の目標とを比較し、評価を行う	<ol style="list-style-type: none"> ①生活保護の受給を開始し、目標を達成した。 ②みなし2号適用により目標を達成した。 ③親族への連絡、支援要請を継続する。 ④見守りを継続する。 ⑤配食サービスの導入を検討する。
A(改善) 計画通りに実行されていない場合に、改善のための処置を行い、次のplanに反映させていく。	

<p>活動から見えてきた地域課題や区として対応すべき課題</p>	<p>※全体の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り中に、応答がなくなり、家主が鍵をあけて、自室内で倒れているところを発見、救急搬送された。 ・同時に室内に隠れていた親族(弟)を発見し、同居の事実が判明し、弟も生活保護を受給することとなった。 <p>※課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳未満(プレ高齢者)へのサービス制度の不足。 ・訪問時の生活実態把握の難しさ。
----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------